

平成30年度手づくり郷土賞選定案件概要(北海道内)

【一般部門】

新川夢の桜並木事業 (北海道・札幌市)



約700人によるさくら並木清掃



地元小学生への出前授業

<活動内容>

「特色のない地区に何か誇れるものを」と平成10年に町内会を中心に2800万円の寄付を集め、二級河川新川水系の右岸に地域住民400名の手により、延長約7.5km755本の桜の植樹を行い、維持管理を継続。翌年から毎年、延べ1500名が訪れる音楽祭や300名規模のウォーキング大会などのイベント開催や地元小学校への出前授業など実施し、郷土愛の環境づくりを行っている。運営の殆どを地域住民が携わる20周年ライトアップ事業を実施するなど、町内会活動が停滞する団体もある中、地域づくりを超えた取組を行っている。

<地域活動団体>

新川さくら並木連合町内会

<対象となる社会資本>

2級河川新川水系 新川、琴似川

※管理者:北海道

【一般部門】

地域を育てる緑の道 (北海道・旭川市)



ガイド養成ワークショップの様子



水やりに地域の子供達が活躍

<活動内容>

昭和50年代以降、歩行者が減少する状況の中、「市民にとってかけがえのない道」にしたいとの思いから活動を始め、H27年にアダプトプログラム協定を締結し、植栽柵の水やり等の維持管理、ワークショップや緑道文化まつり(約250人来場)の開催など住民自らが街づくりを積極的に取り組むことで、次世代を担う若年層が関心を持ち、多くの市民や観光客等の憩いの場として七条緑道が活用されている。また、七条緑道の魅力が再注目されたことで歩行者の回復や沿道の出店など地域の活性化に貢献している。

<地域活動団体>

緑道ワークス

<対象となる社会資本>

7条公園通線

※管理者:旭川市

【一般部門】

「増毛山道」の復元と保存による地域活性化 (北海道・増毛町)



山道維持管理のための笹刈作業



トレッキングツアーの様子

<活動内容>

増毛山道は、江戸時代末期、ロシア南下政策に備え、松前藩の命を受け約38kmの山道を開削し、地域の重要な交易道路として利用されていたが、海岸線道路等の整備により、昭和43年には地図からも消えてしまった。この山道をH28年に全線復元し、草刈り等の維持管理、遺構の保存活動を実施するとともに山道体験トレッキングツアー、地元の小中学生を対象とした出前授業など地域の愛着を深める活動を行っている。山道全線が現在に遺され、復元できた増毛山道は希少な山道であり、歴史的な価値は大きい。

<地域活動団体>

特定非営利活動法人 増毛山道の会

<対象となる社会資本>

増毛山道、町道

※管理者:特定非営利活動法人増毛山道の会、増毛町

【大賞部門】

小樽雪あかりの路 (北海道・小樽市)



小樽雪あかりの路小樽運河会場



海外からも参加する多数のボランティア

<活動内容>

厳寒地の冬の夜という、従来では観光資源として考えられなかった要素に注目し、寒いからこそ感じられる北の旅愁、人の温もりを伝える「静のイベント」として、延べ12万本のキャンドルの灯りが歴史的遺産である小樽運河など街の夜を演出するイベントを開催。

地域資源を活用することで地域住民の郷土愛が醸成され、海外ボランティアが小樽の魅力を自国で発信することで国際的な観光PRにも繋がっている。また、冬場の宿泊客数の増加、通過型から宿泊滞在型への移行、地域経済の活性化などにも寄与している。

<地域活動団体>

小樽雪あかりの路実行委員会

<対象となる社会資本>

小樽運河、手宮線跡地

管理者:小樽市

<一般部門等の受賞年度>

平成16年度